

PD 製品デザインコース教員 専門性解説シート

● 氏名 / (NAME) / 役職

柿山 浩一郎 / Koichiro KAKIYAMA / 准教授



● 職歴 / 学歴

2012.10 札幌市立大学 デザイン学部 准教授
 2008 札幌市立大学 デザイン学部 製品デザインコース 講師
 2005 静岡産業大学 情報学部 情報デザイン学科 CGアート・SEコース 講師
 2005 筑波大学 大学院 芸術学研究科にて博士(デザイン学)取得
 2003 日本学術振興会 特別研究員(21COE)
 2000 筑波大学 芸術専門学群 生産デザイン専攻 卒業

● 専門性を示す代表的な作品 / 専門性を表現するイメージ(写真)



● 専門性を表すキーワード(5つ以内)

感性評価 / 情報プロダクト / シミュレーション / ソフトウェア開発 / コミュニケーション

● これからの製品デザイン分野で重用視されると考えるキーワード(5つ以内)

感性価値 / 人間科学 / フィジカルコンピューティング / ノンバーバル / ヒューマンインタフェース

● 指導時に主にサポートできる部分(技術/造形/表現手法/ソフトウェア/思考/発想、等)

- ・ 問題解決型、提案検証型、コンジョイント分析、等をもちいた、発想法の指導
- ・ コンピュータを用いた視覚表現を中心とした、伝達技術の指導(ポートフォリオの作成)
- ・ コンピュータを用いたインタラクションを中心とした伝達技術の指導(シミュレータの作成)
 (2D:Illustrator/Photoshop / 3D:Shade / interaction:Flash/Director)

● フリーコメント

大学で学ぶべきデザインの大半は、「発想力」と「伝達力」を磨くことと考えます。モノやコトを利用する人間の、心の奥底にある原理のようなものを発見し、その原理を利用した発想が重要と思います。また、この発想に基づいた提案は「世の中に浸透しづらい」、「伝達しにくい」可能性があります。新しい概念を含む提案は魅力的ですが、人に伝えられなければ意味がありません。多彩な表現を用いた「伝達力」を獲得することが重要です。私のゼミでは、「発想力」と「伝達力」を磨くことを中心に、製品デザインを学んでいきたいと思います。